



緑を愛す

教育長 津野庄一郎



関川村の上関・^{ながみね}長峰山にある「学びのもり」で、2 年前に植えた^{むかふんすぎ}無花粉杉を守るために、関川村緑の少年団が「^{したが}下刈り」と「成長調査」を行いました。関川村の豊かな森林資源を守り、後世へと引き継ごうと子どもたちは、指導員と共に汗を流しました。

「学びのもり」は、森林環境教育など継続的な体験活動の場、知識から技術までの林業体験の場となる森林施設として整備されたもので、多くの方がふれあい・学習体験できることを目的に、村と上関生産森林組合とが協定を結んでいます。2023 年の 10 月に整備事業の一環として緑の少年団や関係する人たちで、無花粉杉の苗 200 本を植え付けた経緯があります。

6 月下旬に行われた活動には、団員である関川小児童 9 名と、緑の少年団の指導員、事務局スタッフ 15 名が参加しました。杉苗の生育を助ける下刈りをやり、杉の幹の太さ、高さ、枝張り具合をメジャーで計測してカードに記入しました。子どもたちは「少しでも大きく育ててほしい」と指導員のアドバイスをもとに一本一本丁寧に作業を進めました。

活動後、村民会館に戻った子どもたちは、杉の丸太切りとコースターづくりをして「木の加工」についても楽しく学びました。事務局の渡辺さんは「より多くの子どもたちに自然に親しみ、緑に関心を寄せてほしい」と話しました。



<【写真】上：杉の成長調査 下：コースターづくり 【URL】職業漫画 人 to 木：林野庁>